

(仮称)木曽川右岸道路(南部ルート)建設事業に係る令和2年度事後調査
報告書の概要について

1 (仮称)木曽川右岸道路(南部ルート)建設事業

(1) 事業の概要

① 事業者	長野県、上松町、南木曽町、大桑村
② 事業実施区域	上松町、南木曽町、大桑村(～岐阜県中津川市)
③ 事業の内容	道路の建設
④ 事業の規模	車線数：2、延長：約22km(うち森林の区域等約11～15km)
⑤ 条例該当	第2種事業
⑥ 関係地域	上松町、南木曽町、大桑村(～岐阜県中津川市)

(2) 事業の経過

H15. 3	環境影響評価方法書公告
H17. 11	環境影響評価準備書公告
H18. 8	環境影響評価書公告
H19	対象事業着手

(3) 事後調査報告書の概要

- 工事中のABC共通区間(登玉～殿ブロック。令和2年12月から供用開始)における植物及び生態系、一部供用済みの大島・殿BC共通区間(登玉～殿ブロック)における植物、工事着工前のE案(野尻向～柿其ブロックの阿寺地域。令和3年5月着工)における生態系の調査結果等を報告。

○ 植物

- ・ササユリ(ABC共通区間)

年度	調査内容・環境保全措置	備考
H24	詳細な生育状況調査	盛土に伴う直接的影響を予測
H27	移植(8株)	
H27～30	移植株のモニタリング	活着率0%
R1	・分布調査 ・播種	分布調査により事業地周辺の7箇所計18株を確認。採種し、2箇所へ播種。
R2	・分布調査 ・播種	・7箇所計22株の生育を確認。 ・令和元年度播種地では発芽確認されず。 ・令和元年度播種地付近で伐採が行われ、森林環境に変化が生じる可能性があることから、再播種を実施。

- ・ソクズ、オオハナワラビ(大島・殿BC共通区間)

ソクズは6月に19株の生育を確認。オオハナワラビは確認されなかった。

○ 生態系

- ・ABC共通区間(令和2年12月から供用開始)において、創出した移動経路(アーチカルバート)を利用する種を調査。直接観察では哺乳類1種、両生類2種、魚類3種、甲殻類1種、センサーカメラでは述べ299個体の利用を確認。アーチカルバート上部にある新規道路にもセンサーカメラを設置し、381個体の利用を確認。なお、直接観察時等において、大・中型哺乳類、両生類等のロードキルは確認されなかった。
- ・クマタカ(登玉地域)(ABC共通区間)について、行動圏及び繁殖状況を把握するための調査を実施。2ペアで幼鳥の木移り又は飛翔を観測し、繁殖の成功を確認。
- ・クマタカ(阿寺地域)(E案)について、工事着手前における行動圏及び繁殖状況を確認するための調査を実施。幼鳥の飛翔を観測し、繁殖の成功を確認。